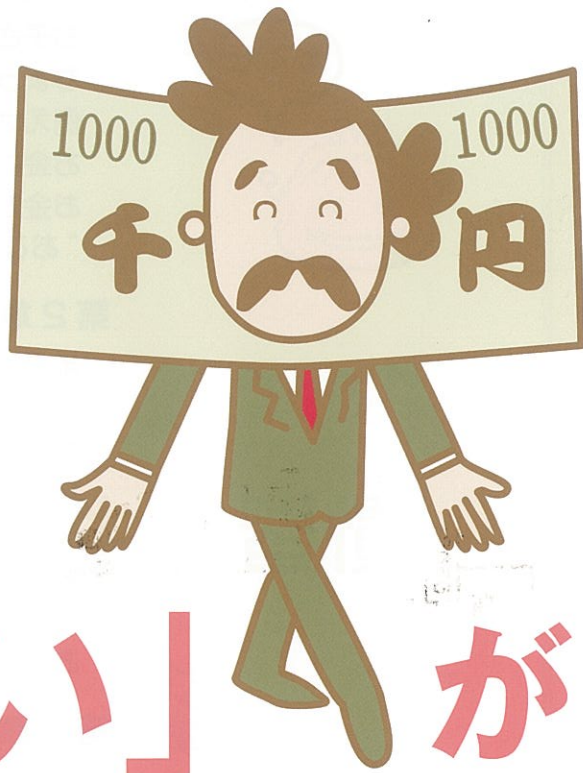
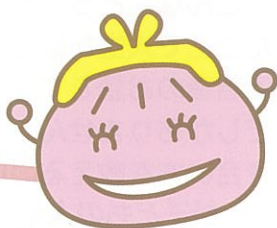




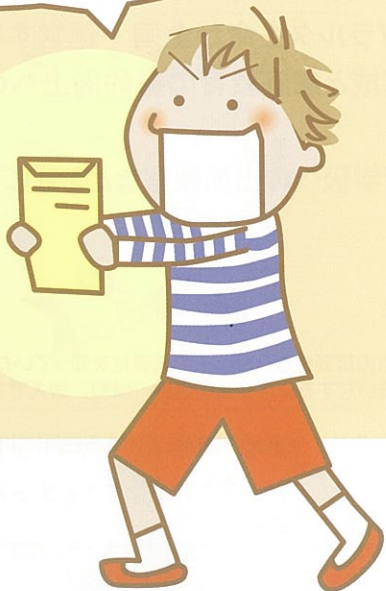
キッズデザイン賞
 キッズコンシューマー
 サポート部門
 審査委員長特別賞 受賞作品！



未来を担う
 子どもたちのために

「おこづかい」が 子どもの人生を変える

ぼくのお金！



監修



特定非営利活動法人
金融知力普及協会
 Association for the Promotion of Financial Literacy

企画・運営



Gibraltar
 ジブラルタ生命

PTA 会員の皆様へ



平成 28 年 10 月 27 日

世田谷区立玉堤小学校

PTA 会長 関岡 光

文化厚生委員会家庭教育学級 本田 史子

平成 28 年度第 2 回家庭教育学級講演会 報告書

第 2 回家庭教育学級は、10 月 17 日に、ジブラルタ生命保険株式会社 東京営業本部チーフインストラクター 佐野 元様をお招きし、「おこづかいが子どもの人生を変える～未来を担う子どもたちのために～」と題してランチルームで講演会を開催しました。当日は 30 名ほどの保護者の方々が参加してくださいました。電子マネーが日常になり、お給料も手渡しではなく銀行振り込み・大変便利ではありますが、お金の重み、大切さを忘れがちです。お金の大切さを子どもが実感でき、計画的に使っていけるようになる方法を、わかりやすい資料、事例を用いながら楽しく、明瞭にお話しいただきました。グループディスカッションも盛り上がり、楽しく有意義な 2 時間となりました。

講演は、子どもたちが人生を送っていく中でお金とどのように上手に付き合っていくか、使っていくかを知り、実行していけるようにおこづかいを利用しようということで、4 章に分けてお話ししていただきました。第 1 章では「お金との付き合い方を教えることはしつくと同じである、習慣化しよう」、第 2 章では、「実際にどのようにおこづかいを渡したり使わせたりするとよいか」、第 3 章では「お手伝いにお駄賃をあげるか、値段の高いものをねだってきたらどうするか、等具体的な事例にどのように対応するか」第 4 章では「大人が手本となるように行動すること」をお話ししていただきました。

講演後に行ったアンケートの中で「印象に残っている章は？」との問いに 1 番パーセンテージの高かった 2 章でのお話を具体的に紹介すると、おこづかいを渡し、使わせるときに大切なことは、①おこづかい袋を使い現金の重み、増えたり減ったりすることを感じさせること ②1 か月のおこづかいを子ども自身に管理させること ③月 1 回「おこづかい会議」をひらき、子どもに振り返りをさせること ④きちんと管理できていたらおこづかいを増やすこと ⑤失敗しても怒ったりおこづかいを減らしたりしないこと ⑥おこづかいの 3 分の 1 を貯金させること とのことでした。

ご参加いただいた保護者の皆様にはアンケートにご協力いただきありがとうございました。

ご興味のある方は、PTA 室前の掲示板に当日の資料を 11 月末まで置いておきますので、ご自由に閲覧してください。ご不明な点は、文化厚生委員までお尋ねください。



以下に、アンケートの集計結果をお知らせいたします。(小数点以下は繰り上げ)

○講演会全般について

大変参考になった・・・97% 未記入・・・3%

○もっとも印象に残っている章は(複数回答可)

第 1 章・・・37% 第 2 章・・・43% 第 3 章・・・27% 第 4 章・・・17%

○今後このような講演会を希望するか

希望する・・・80% 希望しない・・・7% その他・・・7% 未記入 7%

○意見や感想

- ・普段何気なく渡していたおこづかいだが、こんなに奥が深いと思わなかった。
- ・おこづかいについてよく考え直したい。
- ・子どもと、もう一度お金について話し合いたい。
- ・おこづかいを始めるときの参考になった。
- ・おこづかいで悩んでいたのでも参考になった。
- ・講師の話し方が分かりやすく、聞きやすかった。
- ・電子マネーで決済することも多い中、お金の大切さ、使い方を教えていく大切さを改めて感じた。
- ・お年玉の管理や財布をなくした時等の状況別にどのように対応したらよいか具体的に伺え、参考になった。



次回家庭教育学級は、

12月 1日(木)です。

インターネット、携帯電話のマナーやトラブルを回避するためのルール作りについて講演会を行う予定です。ご参加をお待ちしています。